

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 1 市民主体の協働により、みんなで幸せを実感できるまちに ～地域経営の推進～
 重点的取組 3 地域における自治を築く

担当課名	自治振興部 地域政策課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
目	目	03	公民館費

事業名	公民館管理運営事業	事業開始年度	平成 24 年度
	地区の実情に合った独自のまちづくりのための支援（市民センターの指定管理者制度の導入）	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市民センター条例 廿日市協働によるまちづくり条例

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民センター利用者及び市民センター区域内の住民・団体	地域住民に身近な活動施設である市民センターの管理運営を住民自治組織自らが行うことで、実情に合った地区独自のまちづくりの推進や拠点施設としての機能を発揮させ、地域自治の確立を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	定期的な協議の場や情報共有を進め、協働して各センターの地域運営が行われるよう支援する。	佐方アイラブ自治会 串戸地区自治協議会	地域の実情を熟知した地域自治組織の特性を活かし、地域課題への素早い対応や地域人材の活用を積極的に行う。

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	【事業内容】 地域自治の確立に向けた取組みとして位置付け、平成27年度から平成29年度までの3ヵ年を期間として、佐方市民センター及び串戸市民センターの管理運営を住民自治組織である佐方アイラブ自治会及び串戸地区自治協議会が行った。 〔エリア内人口（H27.4.1時点）〕 佐方地区 男 3,762人 女 3,936人 計 7,698人 串戸地区 男 1,857人 女 1,966人 計 3,823人 〔事業方針〕 1 社会教育施設としての役割の推進 地域運営を活かした社会教育の充実 2 地域協働施設としての役割の推進 (1) 地域情報の一元化及び地域人材の発掘・活用 (2) 協働の実施可能な事業への積極的参画 (3) 市民センターの活用による地域の活性化 【歳出】 委託料 佐方市民センター指定管理委託料 17,827,000 円 串戸市民センター指定管理委託料 15,904,000 円 合計 33,731,000 円						
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越
財源内訳		直接事業費 A	155,000,000	33,731,000			
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金（市債）					
		その他(使用料など)					
		市（市税など）	155,000,000	33,731,000			
	人件費(按分) B	0.10 人 857,400	0.10 人 845,800				
	総事業費(A+B)	155,857,400	34,576,800				
ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人			
	②	市民1人当たり	1,330	295			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	市民向け講座の年間開催数(佐方市民センター)	回	16	16	18	
		市民向け講座の年間開催数(串戸市民センター)	回	11	11	15	
	成果	利用者数の増加(佐方市民センター)	人	41,963	35,400	43,257	
利用者数の増加(串戸市民センター)		人	28,705	24,596	31,294		